

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○		○		○		○		○	

企業の概要

企業・団体名	GMOペパボ株式会社	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	434名
事業概要	レンタルサーバー「ロリポップ!」やハンドメイドマーケット「minne」、オリジナルグッズ作成・販売サービス「SUZURI」、ネットショップ作成サービス「カラーミーショップ」など自己表現を支えるインターネットインフラの提供		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	リモート勤務細則、ガイドライン(3種)
テレワーク担当部署	もっとおもしろい働き方プロジェクト(各部署から招集されたスペシャリストによる全社横断プロジェクトとして運用)
テレワーク対象者	正従業員・契約従業員・アルバイトの全職種
実施者数	434名
平均実施日数	月16回以上(概ね週4回以上)

テレワークの導入・拡大の経緯

- GMOペパボは2019年にJASDAQから東証二部となり、2020年には東証一部へ銘柄指定を受け、日本を代表する銘柄、企業としての活動意義や社会的責任をより強く自覚し、事業規模のさらなる拡大と社会貢献のために多様性に優れた人財を確保することがより重要であると考え、2017年より新しい働き方に備えてきた。
- そのような中、新型コロナウイルス感染拡大を背景に、感染および感染拡大防止のため、2020年1月27日から原則在宅勤務体制へと移行。BCPの観点より毎年定期的実施してきた在宅勤務訓練で培ったノウハウや経験を活かし、長期化する在宅勤務体制においても、在宅率ほぼ100%の中、業務や業績に支障をきたすことなくビジネスを継続することができたことから、パートナー(従業員)の多様な働き方と多様性に優れた人財採用を実現すべく、2020年6月1日よりテレワークを基本とする体制へと移行した。

テレワークの概要・特徴

- GMOインターネットグループが掲げる「リモートワーク活用企業No.1」の方針のもと、パートナー(従業員)の多様な働き方を実現するため、2020年6月1日よりリモートワークを基本とする勤務体制に移行。
- GMOペパボのパートナー(従業員)は、生産性や効率、自身のライフスタイルを重視しながら、テレワークを基本として、チーム内のコミュニケーションなどでオフィスを活用する自律的な働き方を実施。
- テレワーク移行後に抽出された課題を解決するため、新たな制度やシステムの導入などの仕組みづくりに取り組んでいる。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

【居住地域を問わない人財採用】

- 定期的開催されるコミュニケーションイベントへの参加を条件に、2020年6月1日から採用活動における居住地域の条件を撤廃。拠点を越えた希望職種へのキャリアチェンジも可能になり、自身の能力をより発揮しやすくなった。実績…オフィス拠点地域外入社:27名、再入社:4名

【オフィスの新たな活用方法を確立】

- オンボーディングや各種コミュニケーション等におけるオフィス出社ガイドラインを制定。オフィス(東京、福岡、鹿児島)の活用を推進するとともに、新たなオフィスの活用方法を確立。

【リモートネイティブな業務プロセス・体制の構築】

- ゼロトラストアーキテクチャの実現とSaaSの積極的な活用により、あらゆる業務についてどこからでもパートナー(従業員)が協働して遂行できる体制を構築。「電子印鑑GMOサイン」の活用を推進し、取引先との契約率は60%以上(2021年1月～2021年5月集計の平均率)。コピー機の利用率は50%以上削減。コストに加え紙の製造等に由来するCO2排出量や水の使用量削減にも寄与。

【企業文化の浸透とコミュニケーションの活性化】

- 企業文化を体感し活発なコミュニケーションを行えるよう社内イベントを開催(2020年2月～2021年10月現在までは全イベントをオンライン開催)。90%以上のパートナー(従業員)が参加した年末総会は、99%以上が「楽しかった」と回答、企業理念の「もっとおもしろくできる」を体感できたとのコメントも多く挙げられた。

【「ペパボからだケア」制度による健康促進】

- 健康を維持・促進するための様々な取り組みを実施する「ペパボからだケア」制度を2020年8月より導入。直近のアンケートでは、85.7%が「会社の取り組みにより健康意識が向上した」と回答。